

平成30年度作成
保存版



防災まちづくり計画

出水住民福祉連合協議会・出水学区自主防災会

きずな
みんなの絆で、災害に強いまちづくり
～ 安全・安心を出水の地域力で築こう！ ～

この計画書は、下欄に押印の上、
次年度の役員に必ず申し送りください。

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
印										

編集・発行 出水学区自主防災会



- 目次 -

目標と基本方針	1
防災まちづくり計画 基本方針図	2
地区の特性と基本方針	3
具体的な取組	4, 5
取組体制	6
取組チェックシート	7
年間スケジュール	8, 9
第1ブロックの取組	10, 11
第2ブロックの取組	12, 13
第3ブロックの取組	14, 15
第4ブロックの取組	16, 17
第5ブロックの取組	18, 19
第6ブロックの取組	20, 21
第7ブロックの取組	22, 23
第8ブロックの取組	24, 25
第9ブロックの取組	26, 27
第10ブロックの取組	28, 29
第11ブロックの取組	30, 31
第12ブロックの取組	32, 33
具体的取組候補地	34
すぐにできる対策リスト	35, 36, 37, 38, 39, 40
防災まちづくりアンケート結果	41
災害につよいまちを管理するには？	42, 43
防災まちづくりに取組むのは誰？	44
避難経路マップ	45

目標と基本方針

防災まちづくりの目標

出水学区は、平安京の大内裏の中心部に位置していた歴史のあるまちです。道幅の狭い路地や袋路が多く、京町家も残り、京都らしい景観が形づくられている一方、建物の耐震性が不十分なものも多く、また燃え移りやすく逃げにくいという防災上の課題もあわせ持っています。災害を未然に防ぐには、それぞれの個人・家庭で備えることと同時に、ご近所や町内会のつながりの中で話し合い、「まち」全体の防災性を高めていくことが大切です。そこで、出水学区では、防災まちづくり計画において、以下の目標と基本方針を掲げます。

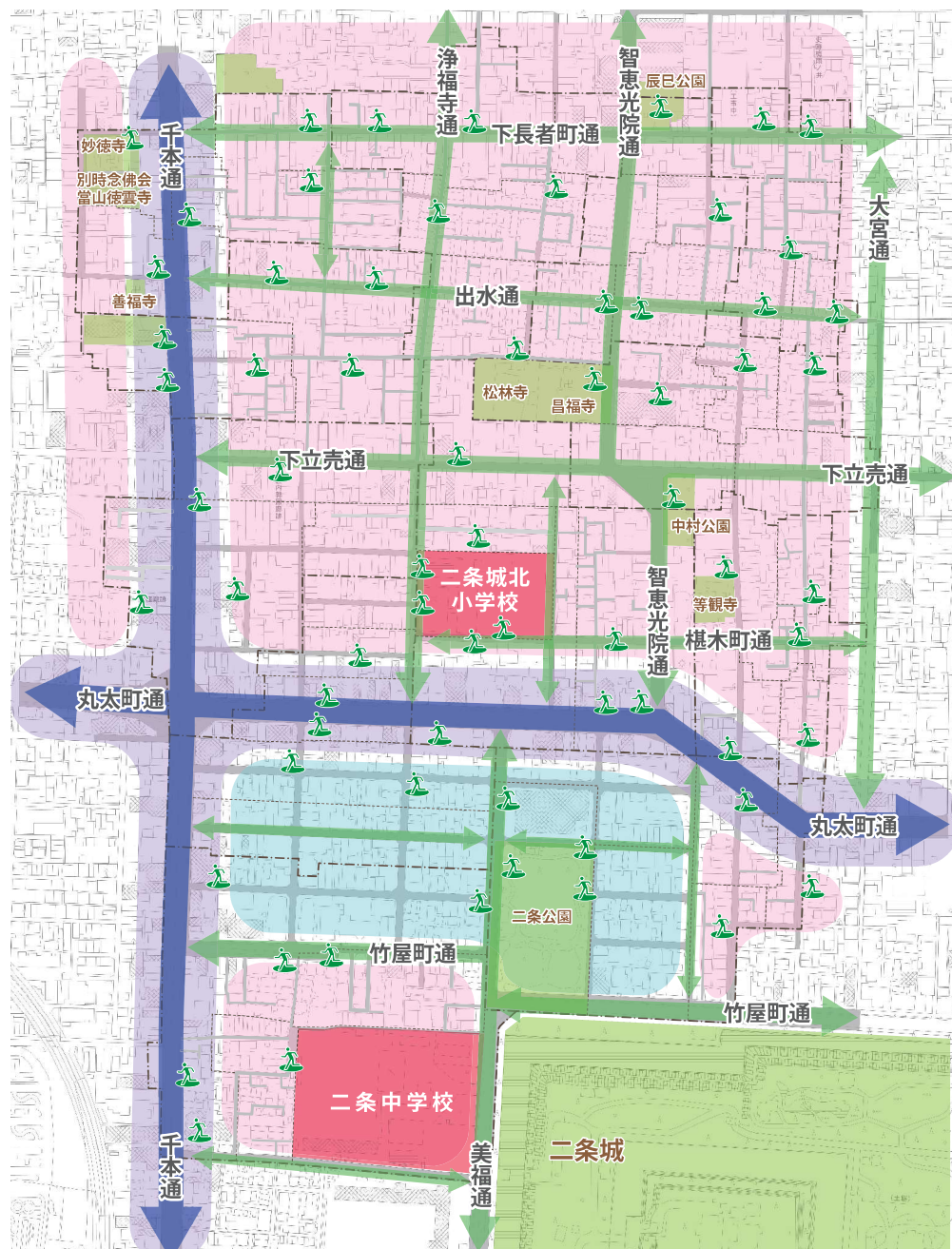
きずな
みんなの絆で、災害に強いまちづくり
～ 安全・安心を出水の地域力で築こう！ ～

防災まちづくりの基本方針

- ① 人を知り、地域を知り、災害を知る
- ② 人のつながりができているまちをつくる
- ③ みんなで話し合い、災害に備える
- ④ 倒れにくく、燃えにくい建物で「いのち」と「まち」を守る
- ⑤ みんなが安全に避難できるまちをつくる

防災まちづくり計画 基本方針図

出水学区には、幅員の狭い路地や袋地に、京町家を含む古い木造住宅が密集するという地域特性があります。学区の防災上重要な道については、幅員4m未満の狭隘な区間があります。こうした状況から、ひとたび大地震や大規模火災が発生した際には、建物の倒壊で避難経路が失われたり、火災が広範囲に拡大するなど、大きな被害が予想されます。このような学区の防災上の課題を克服するため、道路と地区を特徴ごとに分類し、防災まちづくりの基本方針図を作成しました。



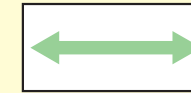
地区の特性と基本方針

沿道の建築物の耐震化・防火改修を促進



広域防災道路 (11m以上道路)

京都市全体の広域的な視点から、災害時の救援活動や物資輸送を支える道路です。千本通、丸太町通沿道の大規模な建物の、耐震化・防火改修を進めます。



学区の防災上重要な道路 (4m以上を目標)

町内集合場所から学校までの避難経路にあたるなど、学区の防災上重要な道路です。沿道建物の耐震化・防火改修を進めます。また4.0m未満の箇所は、建替えに合わせてたセットバックや道路状の整備を行います。

地区の特性



町並みを残しつつ細街路対策に重点的に取り組むエリア

路地や袋路が多いため、京町家の町並みを残しつつ、2方向避難の確保や、建物の耐震化の促進、路地の適正管理を進めます。



建築物の耐震化に重点的に取り組むエリア

道路の整備状況はよいので、住まいや事務所、店舗など、それぞれの建物の耐震性や防火性を高めます。



幹線道路沿道の建築物の耐震・延焼防止に取り組むエリア

広域防災道路である千本通、丸太町通沿道の大規模な建物の、耐震化・防火改修を進め、災害時の通行確保、延焼防止を図ります。



オープンスペース(公園、社寺、公的施設など)

公園、社寺、公的施設など、災害時の活動に有効に使える可能性がある空間です。所有者・管理者と連携し、有効な活用を図りましょう。



町内集合場所

各町内集合場所です。災害時に集合場所ですべきことも、位置と同時に事前に確認しておきましょう。



避難所

災害時の一時的な避難生活を送る場所として、指定されています。
※二条中学校は一時集合場所であり、災害時には二条城北小学校と連絡の上、必要に応じて避難所を開設します。

具体的な取組

災害に強いまちを実現するために、場所によらず、学区内で共通して進めるべき取組があります。各個人や家庭、ご近所や町内会で、話し合い、できるところから取組みましょう！

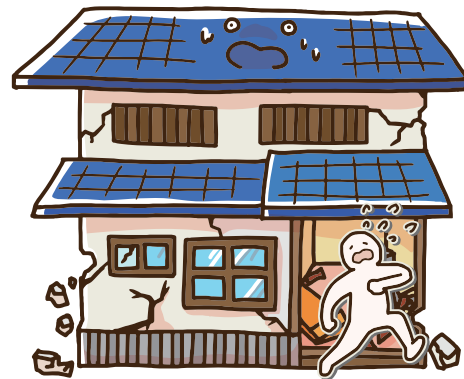
◆ 災害時の対応の共有

いざという時に迅速・的確に行動できるよう、集合場所や連絡体制の再確認をはじめ、要配慮者への対応、具体的な避難方法など地域のルールを共有しましょう。



◆ 建物の耐震性・防火性向上

地震時の倒壊や延焼を防ぐため、建物の耐震・防火改修に努めましょう。



◆ 路地の適切な管理

安全に避難できるよう、路地においてあるモノの整理整頓に努めましょう。



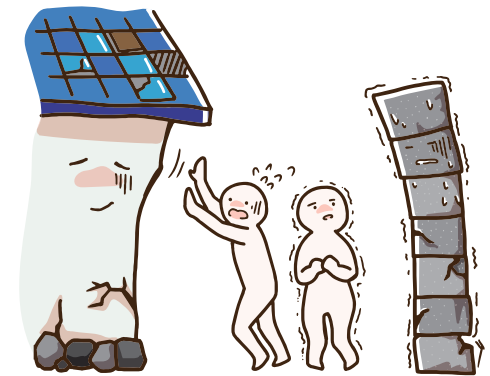
◆ 空き家発生の予防と適切な管理

地域の生活環境を守るため、空き家の発生を予防するとともに、適切な管理に努めましょう。また、老朽化した空き家は除却も検討しましょう。



◆ ブロック塀の安全対策

避難経路に危険なブロック塀がないか確認し、必要な対策を検討しましょう。



◆ 建替時の後退による道の拡幅

4m未満の狭い道路は、建替時にしっかりセットバックし、道を広げましょう。また後退部分は道路形状に整備しましょう。



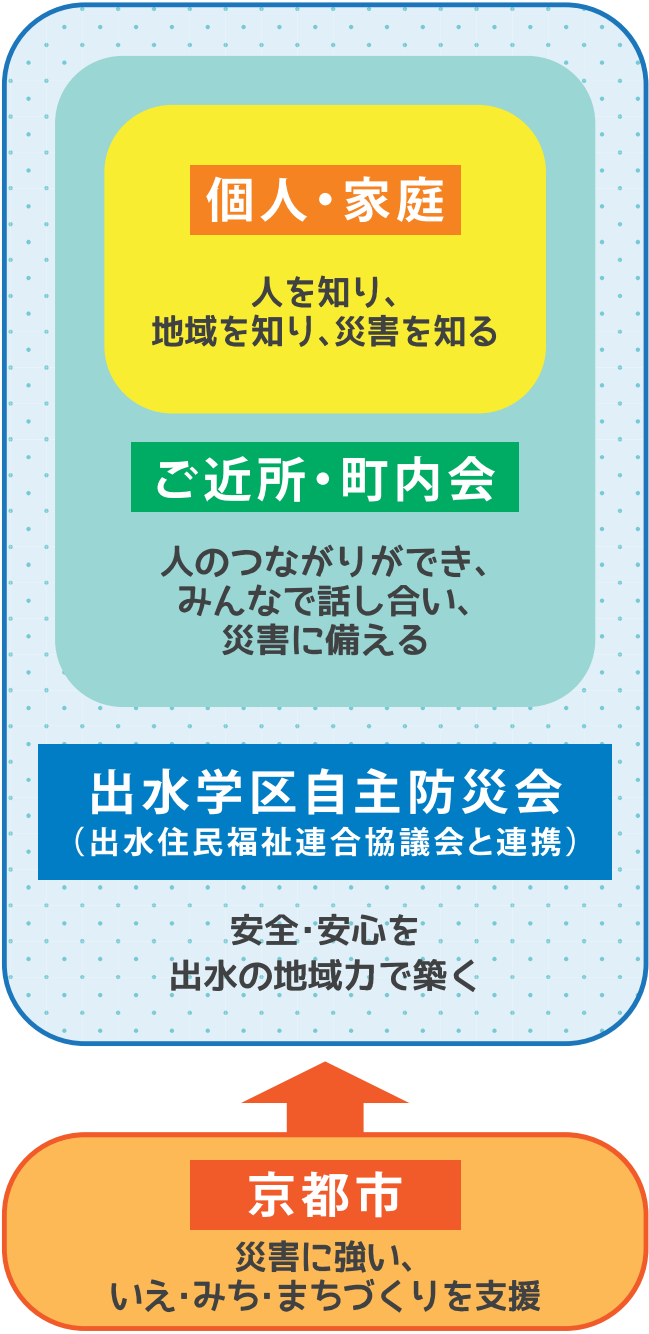
◆ 路地単位の計画づくり・対策

建替等が困難な場合、敷地の統合化や建物の共同化、建築等ができる制度を活用した防災性を高める計画づくりなど、路地単位での検討を進めましょう。



取組体制

「防災まちづくり計画」の実現に向けて、学区全体、町内会単位、個人の役割と具体的な取組を明確にし、各主体が相互に連携・協働を図り防災まちづくりを進めます。



取組チェックシート

防災まちづくり計画を実践するためには、個人・家庭や町内会での継続的な取組が必要です。それぞれの立場で必要な取組を整理しましたので、チェックシートとしてご活用ください。

できている□にチェックマーク(✓)を入れましょう。	個人での取組	☐	家具の転倒防止対策を行い火災報知器を設置する
		☐	災害時の避難持ち出し袋を用意する
		☐	自宅の耐震診断を受ける
		☐	自宅の耐震補強、防火改修を実施する
		☐	燃えやすい物を家の周りに置かないようにする
		☐	4m未満の道路に面する敷地は建替時に道路後退を行う
		☐	安全に避難できるよう路地を適切に管理する
		☐	空き家の所有者は空き家を適切に管理する
		☐	町内集合場所の位置を確認する
		☐	消火器、防火バケツの位置を確認する
	町内会での取組	☐	近所付き合いを日頃から大切にする
		☐	町内や学区の行事に参加する
		☐	災害時要配慮者を把握する
		☐	空き家の所有者や連絡先を把握する
		☐	町内集合場所が安全であるか確認する
		☐	町内集合場所での安否確認や避難誘導の方法を確認する
		☐	町内会で防災について話し合う
		☐	防災行動計画書を見直す
		☐	防災まちづくり計画図にもとづき防災点検を行う
		☐	町内会の防災関連情報を収集する
		☐	学区からの防災関連情報を速やかに住民に提供する
		☐	建物の耐震化や路地の適正管理を呼びかける
		☐	町内や学区の行事への参加を呼びかける

年間スケジュール

出水学区では毎年、総会、ブロック別研修会、総合防災訓練の時期が決まっています。この年間スケジュールを踏まえ、各個人、各町で、取組を進めましょう。各町内会の防災委員のみなさんには、防災まちづくりの「点検シート」を7～8月頃に配布・説明しますので、自分の町を点検した上で、その結果を11月に自主防災会に提出してください。また点検に基づいて、できる取組を具体的に進めてください。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
個人	建物・避難経路の確認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
町内会	防災の取組（路地の管理等）※1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	点検シート				説明	点検		提出※2					
学区	自主防災会総会	●											
	ブロック別研修会												
	総合防災訓練									●			

※1 各路地・袋路について、防災性を高めるための具体的な取組について話し合い、実践しましょう。
※2 点検シートは、町内防災計画書と同時に提出してください。

自主防災会 防災委員のみなさまは、①～③にご記入の上、
毎年11月中に、自主防災会までご提出ください。

第 ブロック 町名： _____

記入者氏名： _____ 記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

① 町内会での取組として、できた項目に✓マークをつけてください。

	取組	できた項目 (□に✓)
町内会での取組	・災害時要援護者を把握する	☐
	・空き家の所有者や連絡先を把握し、適正管理を呼びかける	☐
	・町内集合場所が支障ないか確認する	☐
	・町内集合場所での安否確認や避難誘導の方法を確認する	☐
	・町内会で防災について話し合う	☐
	・防災行動計画書を見直す	☐
	・防災まちづくり計画図にもとづき防災点検を行う	☐
	・町内会の防災関連情報を収集する	☐
	・学区からの防災関連情報を速やかに住民に提供する	☐
	・耐震化や路地の適正管理を呼びかける	☐
	・町内や学区の行事への参加を働きかける	☐

② 防災まちづくりについて、自由にご意見をご記入ください。

③ 空き家、民泊・宿泊施設、空き地、ブロック塀など、まちの防災上気になる箇所があれば、裏面の地図の該当する場所に記入してください。